

優良賞

日本語の難しさ

林 基 雨

L I N J I Y U

来日前の日本語集中研修は初めての日本語勉強でした。教科書に漢字がたくさん入っています。先生は「日本語の漢字は昔中国から伝わりました」と教えてくれました。それを聞くと、日本語に一層親しみを感じました。同時に日本語は英語より勉強しやすいではないかと思いました。

しかし、半年の集中研修が終わったら、日本語の難しさは一層わかりました。動詞形容詞の活用変化が多すぎます。文法もとても複雑です。話し相手によって（目上か目下）同じ意味でも違う言葉を使います（尊敬語等）。それは今でもなかなかわかりにくいです。

こんな面白い話がありました。知り合いの研修生が研修先の社長に「おはよう」と挨拶されると、「おはよう」と返しました。近くにいる日本人職員は思わず笑い出してしまった。

非実務研修の日本語勉強会で研修生たちは先生に「行くより行きます、わかったよりわかりましたの方が丁寧になります」と教えてもらいました。ある会社の総務部長が研修生に「明日の花見会、お前は行くかい」と聞きました。その研修生は行くより行きますの方が丁寧だと思い出して、目上の部長に「はい、行きます。お前も行きますか」と問い返しました。部長は苦笑いをしました。

中国では年齢。性別。職業。地位を問わず自

分のことを「我（ウォー）と言います。日本語では、私、わたくし、俺、僕、あたし、わし等いろいろあります。ある60代の日本人男性は、自分のことをいつも「わし」と言ってたから、彼の助手の技能実習生は「わし=私」として覚ええました。ある日、その実習生が工場長に「今日少し残業してくれるか」と言われると、「はい、わしは大丈夫です」と答えました。

もう一つの例を挙げましょう。某会社の忘年会で、30代の女性技能実習生は、40代の独身男性課長に「あなた、ビールと日本酒とどっちがいい？」全員に大笑いをしました。彼女にとっては、「あなた= You」日本人女性が主人をあなたと呼ぶ習慣は知らなかったからです。

あと、漢字の読み方は研修生にとって頭痛いことです。例えば西という漢字は、西、北西、西瓜、西条市等いろいろあります。また、同じ漢字でも、誤解されることが多いです。日本語の漢字「娘」は中国語でお母さんの意味です。

「麻雀」は自由に空を飛び回る、すずめ、「便宜」は値段が安いという意味になります。特に面白いのは「油断一秒、怪我一生」の安全標語です。日本語のわからない中国人の目から見ると、その標語は「(機械の)オイルは一秒だけ切れても、私が一生に責められる」になります。

日本に来てから、もうすぐ2年になります。日本語の難しさは確かに十分に味わいました。残り1年間しかありませんが、日本語能力試験2級に合格できるように一生懸命頑張りたいと思っています。

区	分	技能実習生
国	籍	中国
職	種	印刷
受入れ企業		イトマン株式会社
受入れ団体		うま商工協同組合